

# 株式会社TBA



代表取締役  
犬飼 忠彦氏

## ◆企業の概要

企業名：株式会社TBA

代表者：代表取締役 犬飼 忠彦

住所：仙台市青葉区荒巻字青葉六丁目  
6番40号 T-Biz 307号室

設立年：平成25年

業種：遺伝子検査紙製造・販売業

資本金：4百万円

従業員数：3名

## ◆事業の概要

当社は東北大学発ベンチャー企業で、遺伝子検査で使われる新たな検査ツールPAS (Printed Array-Strip) という検査紙を開発し製造販売。従来の遺伝子検査では特別な機器や熟練検査技術が必要であったが、本検査ツールは①安価で②検査機関でなく現地で③誰でも簡単かつ短時間で判定が可能。発展途上国での感染菌(エイズ、エボラウィルス等)の現地検査ニーズに対応できるものとして期待できる。また、品質検査(豚肉検査、米品種鑑定等)、養殖魚感染菌検査など応用分野のすそ野は広い。

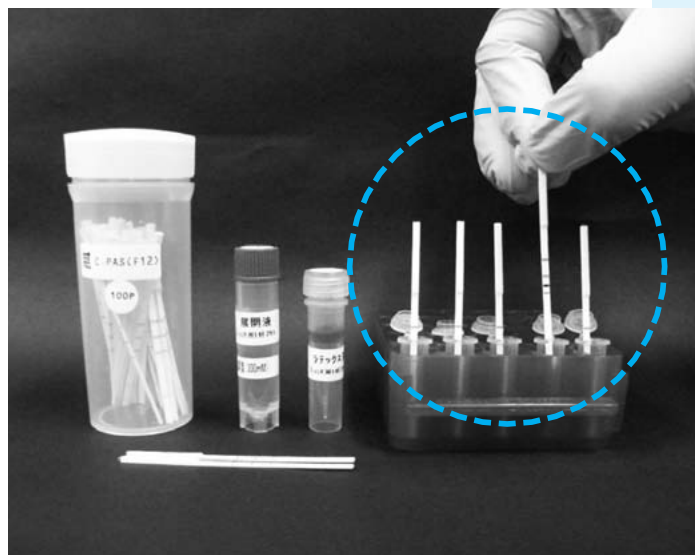


本社入居ビル「T-Biz」



本社

# エイズ等の感染症対策として「誰でも何処でも簡単に」検査結果を目視判定できる画期的な遺伝子検査ツールPAS(Printed Array-Strip)を開発



遺伝子検査用紙片：C-PAS(F12)



製造後のPAS評価試験の様子



研究風景

## ◆受賞の理由

発展途上で喫緊の課題である感染菌（エイズ、マラリヤ、エボラウイルス等）をはじめとした世界の感染症患者数は非常に多く、感染菌検査のニーズは年間100億件以上と推定される。

当社は、感染症死亡者数の減少、特に小児死亡者数を激減させるというWHO（世界保健機構）の施策に貢献するという経営理念のもと、「誰でも何処でも簡単に使える（マルチ）遺伝子検査ツール」をコンセプトに検査ツールを開発。当社取締役でもある東北大学教授川瀬氏が開発したこのツールは、従来の遺伝子検査で必要とされていた高価な検査機器、専門知識や熟練技能を必要とせず、複数の検査用遺伝子をプリントした検査紙片（2cm幅×10cm程度、単価：数百円程度）を用いて直接検査現場で作業ができる。さらに素早い対応が求められる医療現場で、20分という短時間で結果（検査紙片にプリントされた線の色の変化）を目視判定することが可能となる。特に施設や技術者の限られる発展途上国の医療現場で大きな需要があると見込まれており、その気高い理念を実践し社会に貢献する姿勢は高く評価できる。

またこの用途は広く、感染症検査のほか、薬剤投与前検査をはじめとした疾病リスクなど人の体質検査、食中毒菌などの食品混入菌検査や産地偽装や農産物品種鑑定などにも応用できるなど対象の拡大が期待できる。東日本大震災の復興活動として、被害の大きい三陸沖の養殖漁業において、養殖魚介類に感染する細菌の検査が漁業の現場で即座に実施でき、貝毒の早期発見や各種感染菌の養殖圃場への蔓延を未然に防ぐことも可能になり、水産業の復興に貢献することも期待できる。

当社のPASは既に商品化されており、バイオベンチャー企業をはじめ大手企業十数社が当社提供のPASを用いた検査キットの商品開発に着手し、その優れた有用性は遺伝子検査分野において高く評価されている。

当社の遺伝子検査ツールは遺伝子検査を進歩させる画期的な研究技術の結晶であり、市場性と今後の事業展開に大きく期待できる。遺伝子検査分野において、更なる飛躍が期待できる企業である。